Creative Enzymes®

ネイティブ微生物グリセロールキナーゼ

Cat. No. DIA-149

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	グリセロールキナーゼの活性は自然界に広く存在します。微生物では、GKはグリセロールを炭素源として利用することを可能にします。哺乳類では、この酵素は糖と脂肪の代謝の接点を表しています；この酵素は、グリセロールの定量において臨床化学者にとって重要です。GKはまた、グリセロールへの定量的還元後のグリセアルデヒドとジヒドロキシアセトンのアッセイにも有用です。
用途	この酵素は、グリセロール-3-リン酸脱水素酵素、グリセロール-3-リン酸酸化酵素、またはピルビン酸キナーゼおよび乳酸脱水素酵素、リポタンパク質リパーゼと結合することで、グリセロールおよびトリグリセリドの酵素的測定に有用です。
別名	グリセロキナーゼ; GK; ATP: グリセロール-3-リン酸転移酵素; グリセロールキナーゼリン酸化; グリセリックキナーゼ; EC 2.7.1.30

製品情報

由来	微生物
外□	白色の非晶質粉末、凍結乾燥された
形態	フリーズドライパウダー
***EC*番号**	EC 2.7.1.30
***CAS*登□番号**	9030-66-4
分子量	approx. 220 kDa (by gel filtration)
活性	グレードⅢ 30 U/mg-固体以上
混入物	カタラーゼ < 1.0×10^{-1}% NADH オキシダーゼ < 1.0×10^{-3}% アデノシン三リン酸分解酵素 < 1.0×10^{-3}%
等電点	4.3
***pH*安定性**	pH 5.5-10.0 (25°C, 20時間)
最適pH	10
熱安定性	65°C未□（pH 7.5、30分）
最適温度	70°
ミカエリス定数	9.4×10^{-5}M (グリセロール)、1.3×10^{-5}M (ATP)、2.1×10^{-3}M (ジヒドロキシアセトン)
構造	約58,000の4つのサブユニット
阻害剤	p-クロロ水銀ベンゾエート, Hg^{++}, Ag^{+}

保管・発送情報

安定性	-20°Cで安定